



2016年3月期 第3四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2016年2月9日

本日発表のポイント

1. 2016年3月期 第3四半期 連結決算:

- 第3四半期の売上は、前年同期を下回ったが、営業利益は前年同期、計画ともに上回った
- 9ヵ月通期の売上、営業利益ともに前年同期を下回ったが、営業利益は計画を上回った

2. 2016年3月期 連結業績予想:

- 通期の業績予想は、為替動向や新興国の景気低迷等を反映させ、前回計画に対して売上は減少を見込むが、利益は据え置く

3. トピックス

- 転換社債型新株予約権付社債の発行による資金調達について

本日の説明

1. 2016年3月期 第3四半期連結決算
2. 2016年3月期 連結業績予想
3. トピックス

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2016年3月期 第3四半期連結決算

2016年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 連結業績概要

(単位:億円)

	第3四半期			9ヵ月通期		
	当四半期	前年同期	前年同期比	当期	前年同期	前年同期比
売上高	1,169	1,364	85.7%	3,395	3,724	91.2%
営業利益	18	17	106.1%	38	50	76.4%
経常損益	10	-21	-	24	-35	-
当期純損益*	2	-23	-	-17	-47	-

為替 平均レート	1USドル	121.50円	114.54円	+5.7%	121.70円	106.87円	+12.2%
	1ユーロ	132.95円	143.07円	-7.6%	134.36円	140.30円	-4.4%

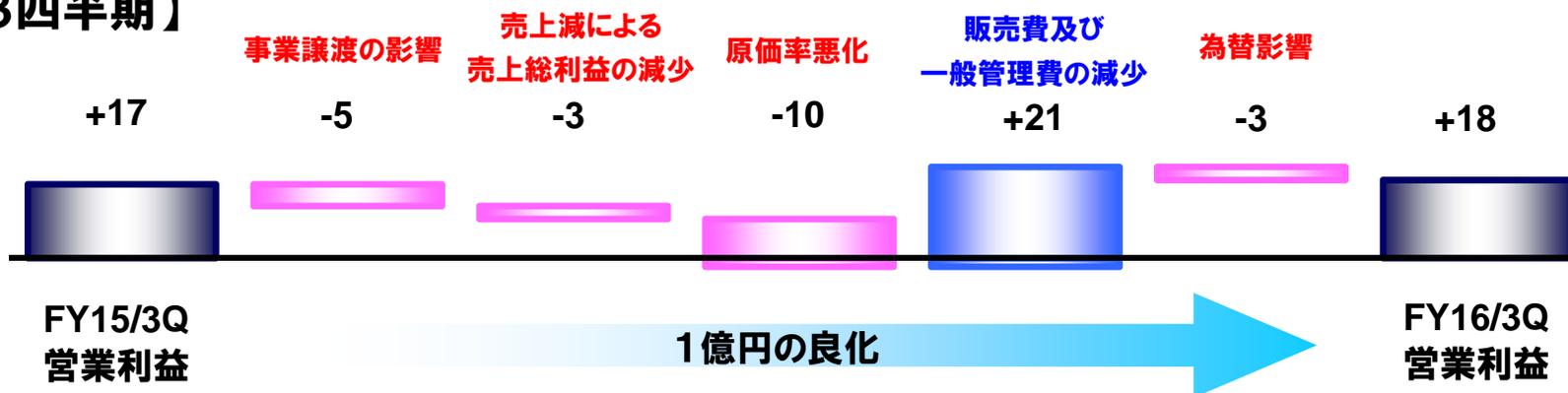
1株当たり純損益*	0.67円	-6.27円	+6.94円	-4.76円	-12.90円	+8.14円
ROE	1.0%	-11.7%	+12.7%	-2.3%	-8.2%	+5.9%
1株当たり純資産	268.30円	221.75円	+46.55円			
ROA	0.3%	-2.7%	+3.0%	-0.7%	-1.9%	+1.2%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

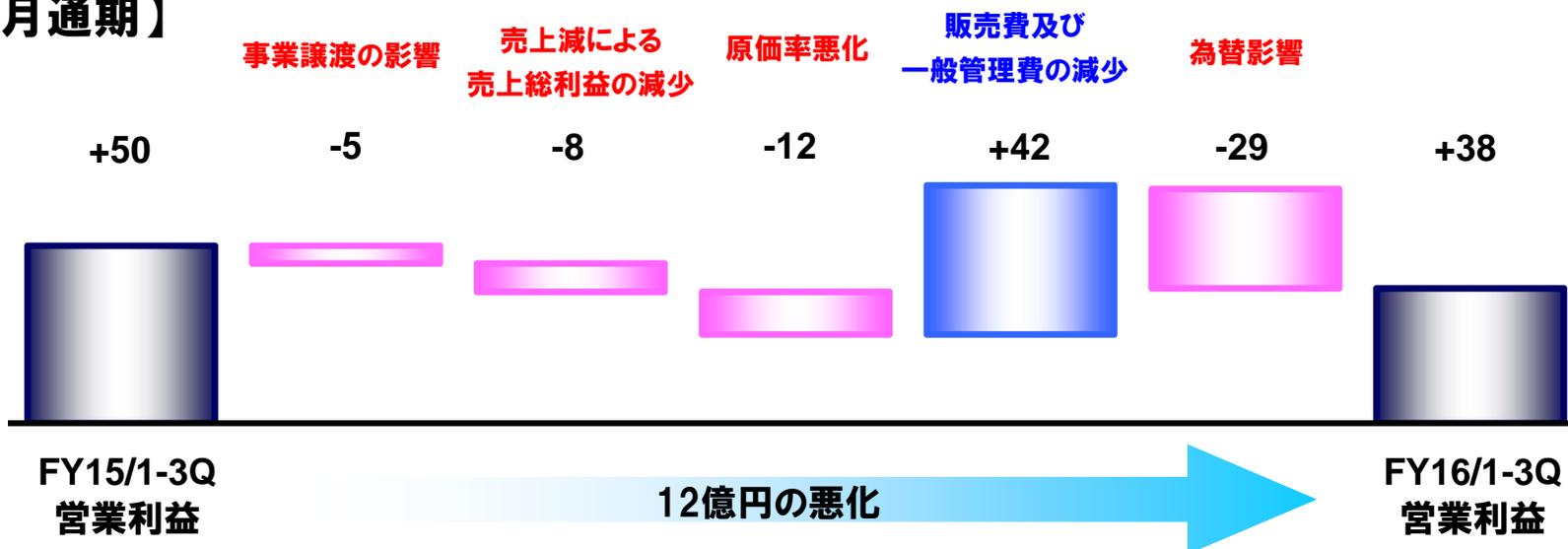
2016年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 営業利益（前年同期比較）

（単位：億円）

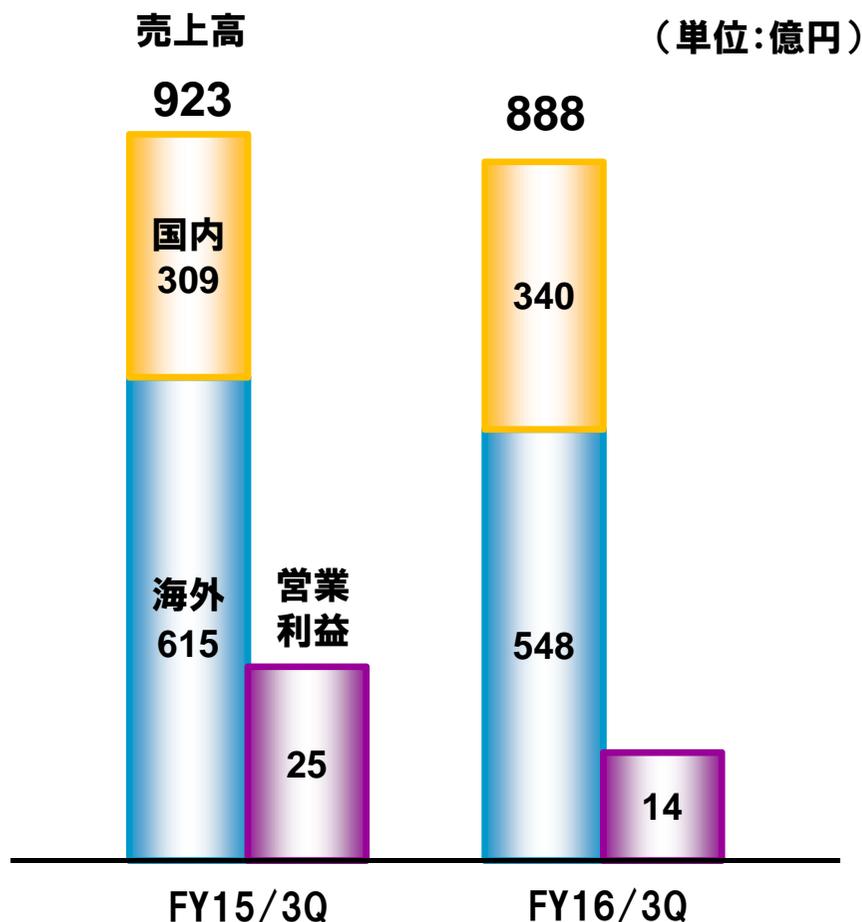
【第3四半期】



【9ヵ月通期】



2016年3月期 第3四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 62% (前年同期 56%)

前年同期比	96% (国内 110%、海外 89%)
増収要因	OEMカーナビゲーションシステム 市販カーナビゲーションシステム OEMカーオーディオ
減収要因	市販カーオーディオ

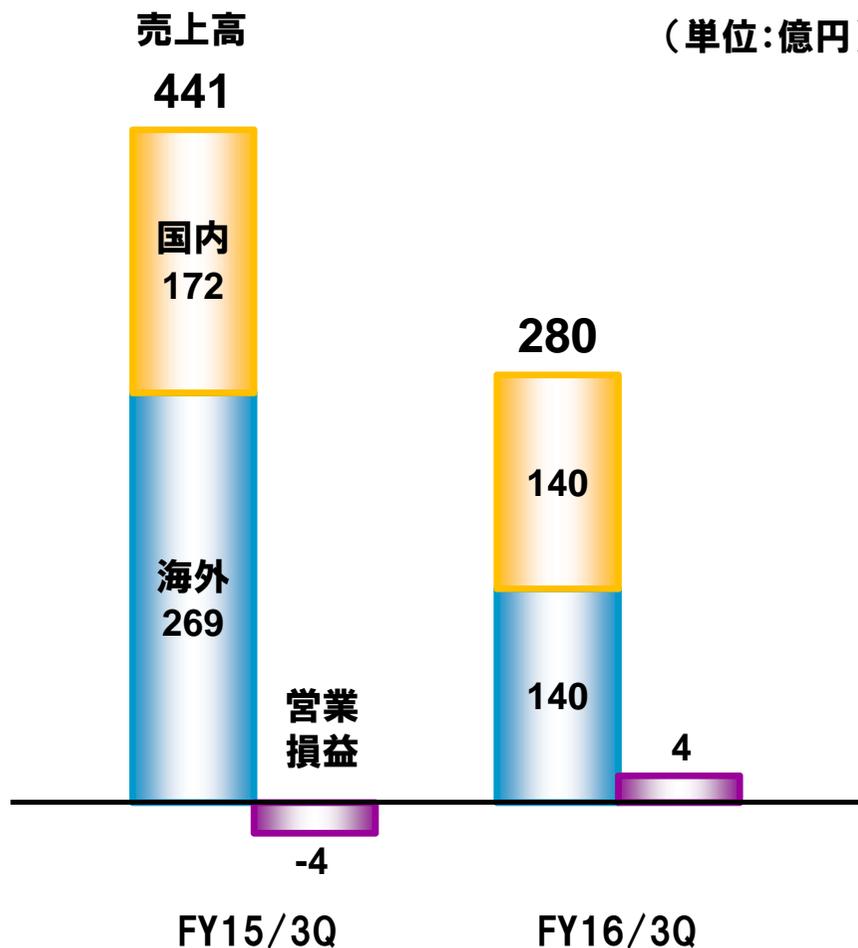
< 営業利益 >

前年同期比	11億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少 (+15億円)
悪化要因	原価率悪化 (-19億円) 売上減による売上総利益の減少 (-4億円) 為替影響 (-2億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2016年3月期 第3四半期：その他



前年同期比	64% (国内 81%、海外 52%)
増収要因	FA機器
減収要因	事業譲渡の影響、光ディスクドライブ

< 営業損益 >

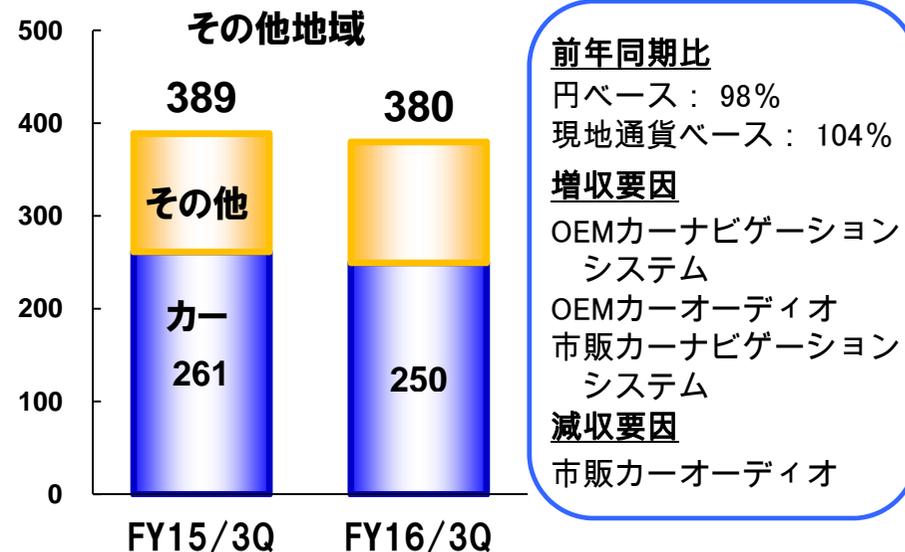
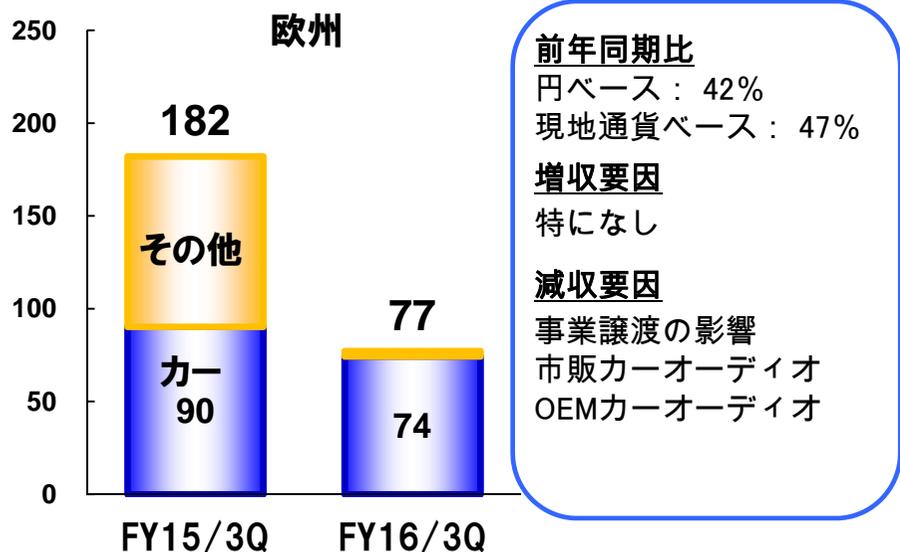
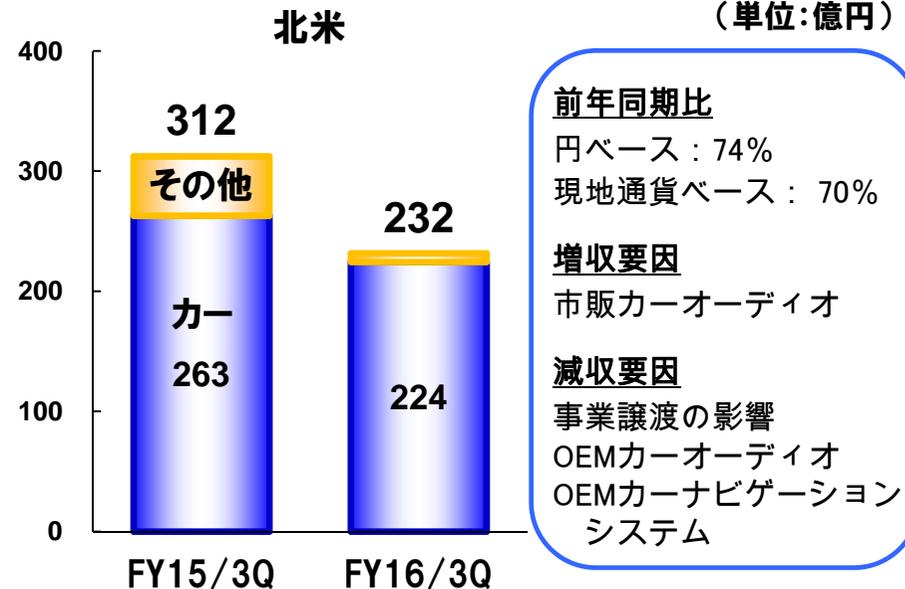
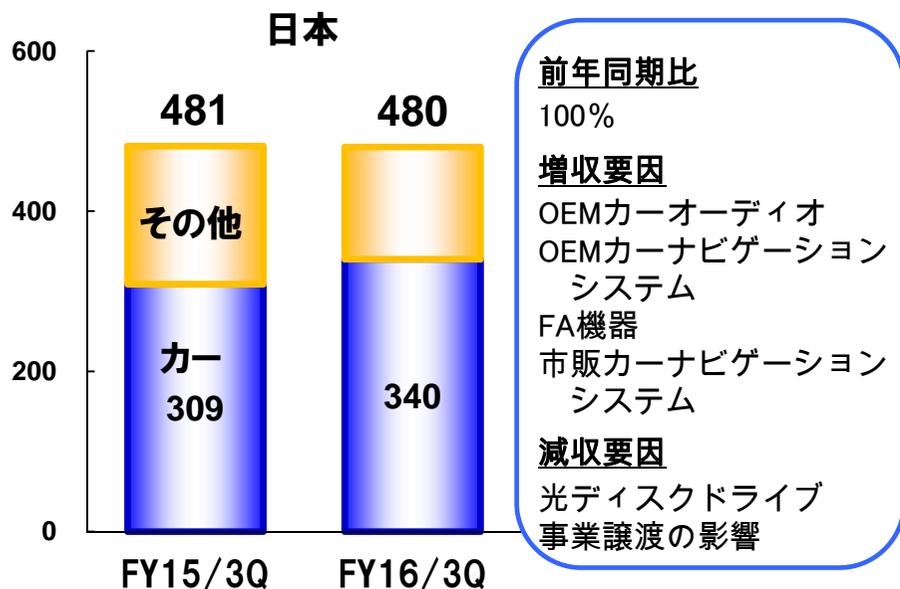
前年同期比	8億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+8億円) 原価率良化(+5億円)
悪化要因	事業譲渡の影響(-5億円) 為替影響(-1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
ブルーレイディスクドライブ、DVDドライブ、CATV関連機器、
FA機器、地図ソフト、電子部品、スピーカーユニット、
有機ELディスプレイ、EMS(電子機器受託製造サービス)、
DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(生産・販売受託)

注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2.FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2016年3月期 第3四半期：地域別売上高

(単位:億円)

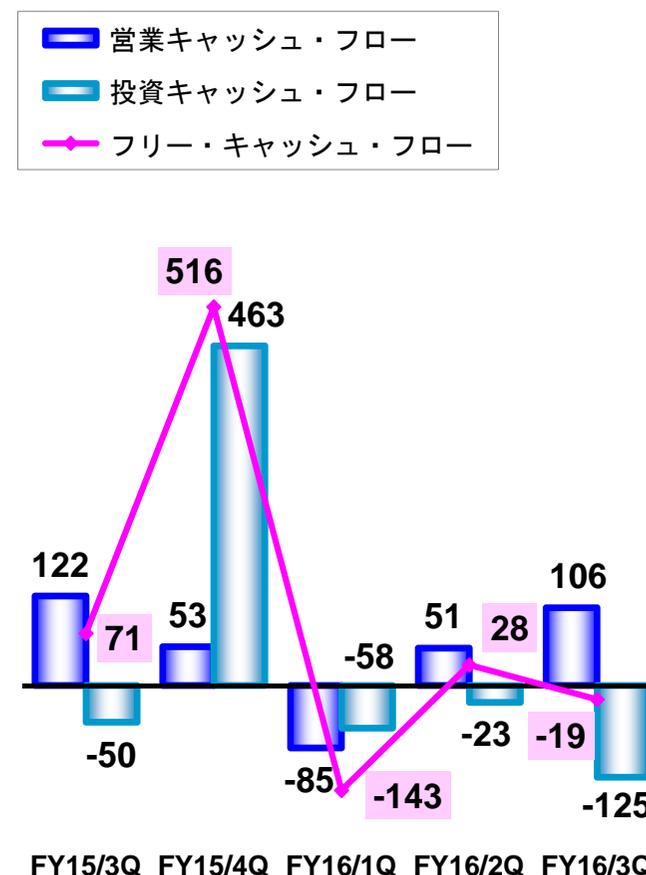


2016年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

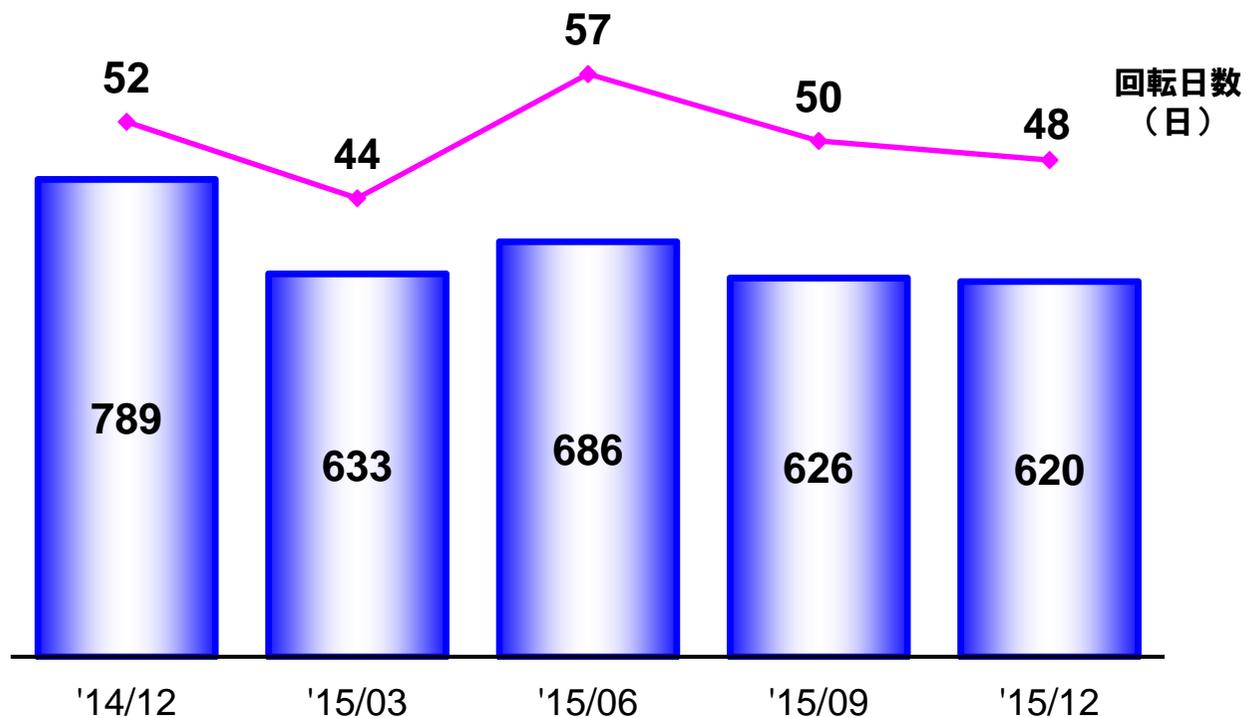
	第3四半期		9ヵ月通期	
	当四半期	前年同期	当期	前年同期
税金等調整前当期純損益	9	-12	19	-10
減価償却費	67	60	204	172
退職給付に係る負債の増減	0	-3	-11	-11
固定資産除売却損益	1	0	1	-12
投資有価証券売却損益	-3	-11	-7	-16
売上債権の増減	-11	-5	-17	55
棚卸資産の増減	7	-7	-12	-30
仕入債務の増減	22	45	24	51
未払費用の増減	-0	-5	-99	45
その他	14	61	-28	49
営業キャッシュ・フロー	106	122	72	293
投資キャッシュ・フロー	-125	-50	-207	-95
財務キャッシュ・フロー	159	-17	102	-120
現金・現金同等物の換算差額	-4	17	-11	25
フリー・キャッシュ・フロー	-19	71	-134	198

現金・現金同等物の増減	136	71	-42	104
現金・現金同等物の残高	474	443		
NETキャッシュ残高	32	-329		



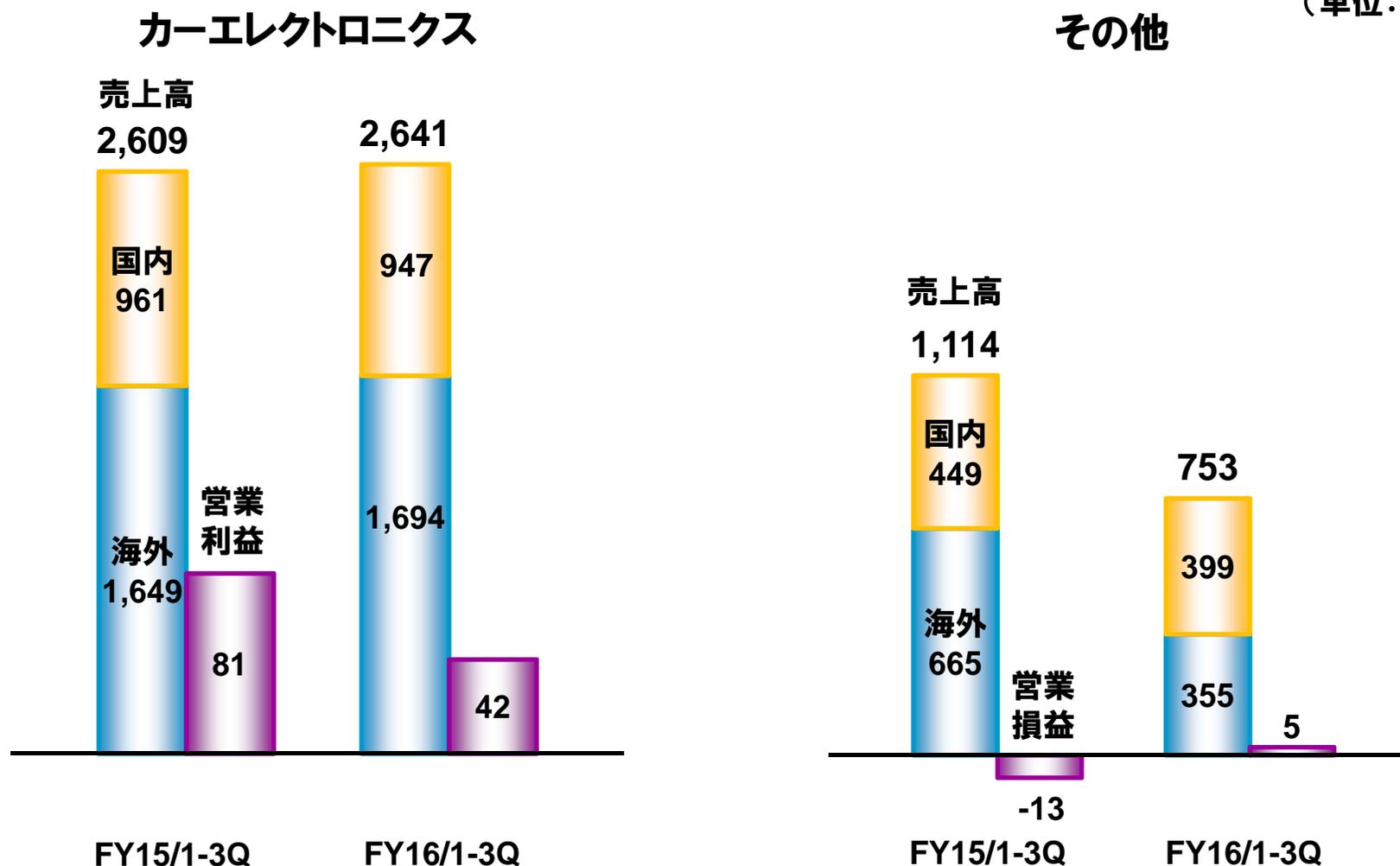
2016年3月期 第3四半期 棚卸資産

(単位:億円)



2016年3月期 9ヵ月通期 セグメント別売上高・営業損益

(単位:億円)



注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
 2.FY15の「その他」の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2. 2016年3月期 連結業績予想

2016年3月期 通期連結業績予想

(単位:億円)

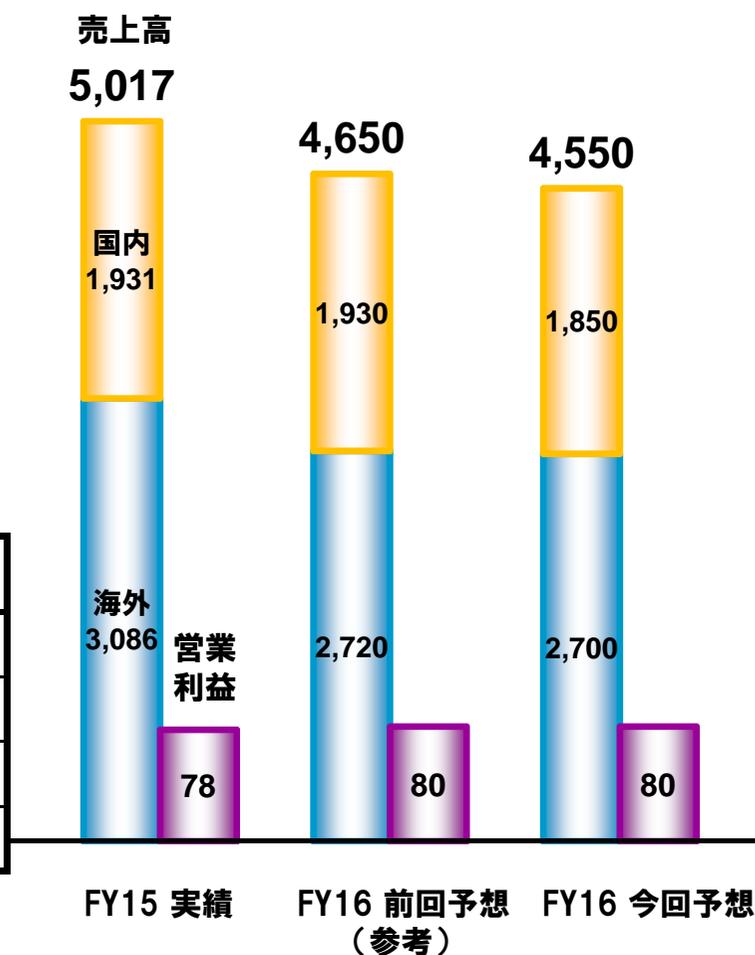
	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
売上高	4,550	4,650	5,017	90.7%
営業利益	80	80	78	102.9%
経常損益	60	60	-29	-
当期純利益*	10	10	146	6.8%

		今回予想	前回予想	前期実績
為替 前提レート	1USドル	121.27円	121.90円	109.93円
	1ユーロ	133.27円	135.04円	138.77円

	今回予想	前回予想	前期実績	前期比
1株当たり純利益*	2.72円	2.72円	39.85円	-37.13円
ROE	1.0%	1.0%	16.8%	-15.8%
1株当たり純資産	275.78円	275.00円	277.05円	-1.27円
ROA	0.3%	0.3%	4.5%	-4.2%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

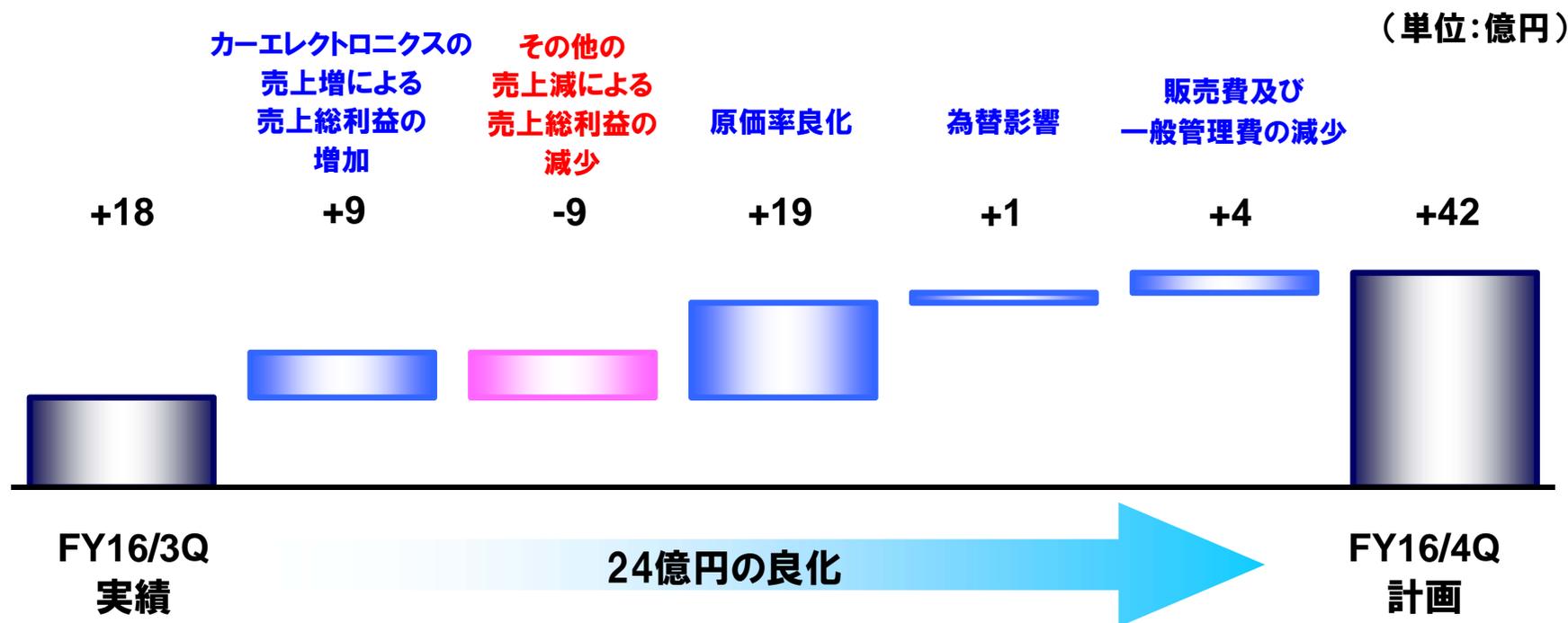
(単位:億円)



注) 1. 残り3か月間の予想レートは、1USは120円、1ユーロは130円を前提にしています。

2. 1円の円安インパクト(残り3か月間)は、売上高では、USドルは約4.9億円、ユーロは約0.5億円、営業利益では、USドルは約▲1.0億円、ユーロは約0.4億円。

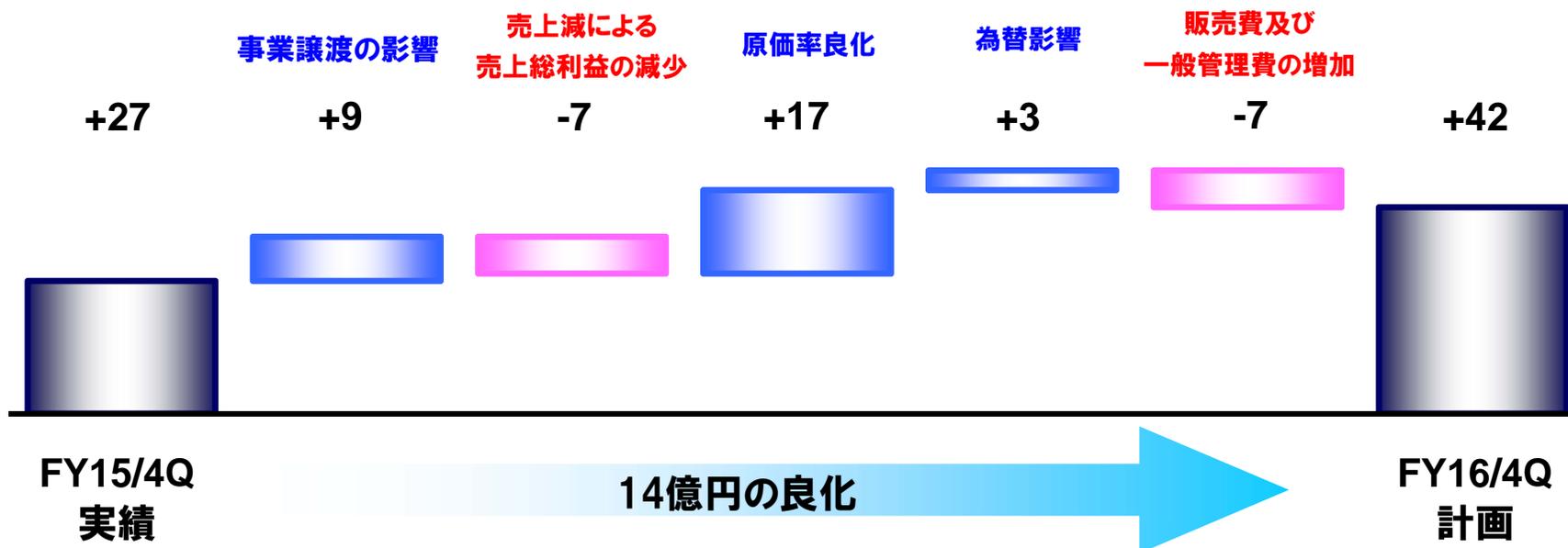
2016年3月期予想：第4四半期 営業利益（第3四半期比較）



- カーエレクトロニクスは、市販カーオーディオで第4四半期に新製品の市場導入が本格化することから増収を見込む。その他は、光ディスクドライブ等で減収を見込む
- 市販カーオーディオの新製品導入効果や事業ミックス等により原価率は良化
- 販売費及び一般管理費は、新製品導入期の第3四半期に比べ減少

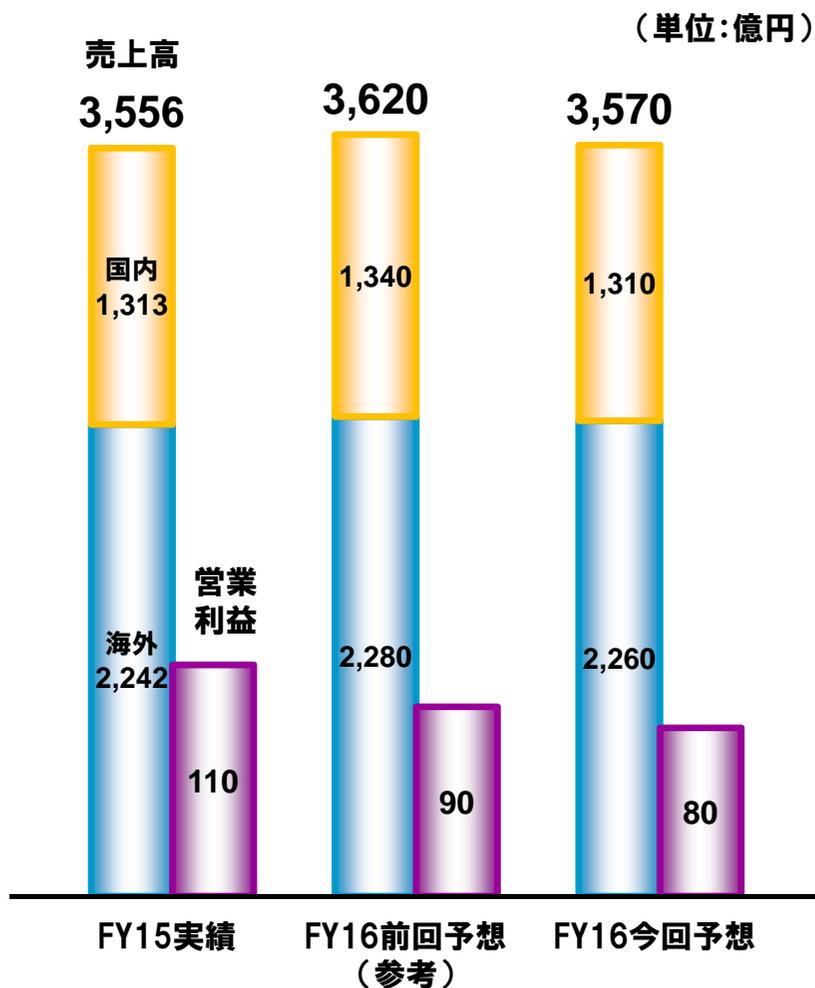
2016年3月期予想：第4四半期 営業利益（前年同期比較）

（単位：億円）



- カーエレクトロニクスは、市販、OEMともに前年同期並みの売上を見込む。その他は、光ディスクドライブやCATV関連機器等で減収を見込む
- 原価率は、減価償却費の増加やOEM先行開発費の増加はあるが、カーエレクトロニクスのコストダウンや事業ミックス等により良化
- 厳しい市況への対応のため、販売費及び一般管理費は増加

2016年3月期予想：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

< 売上高 > OEM比率 60% (前期 57%)

対前期	100% (国内 100%、海外 101%)
増収要因	OEMカーオーディオ、OEMカーナビゲーションシステム、市販カーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーオーディオ
対前回予想	99% (国内 98%、海外 99%)
増収要因	OEMカーオーディオ
減収要因	市販カーオーディオ、OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

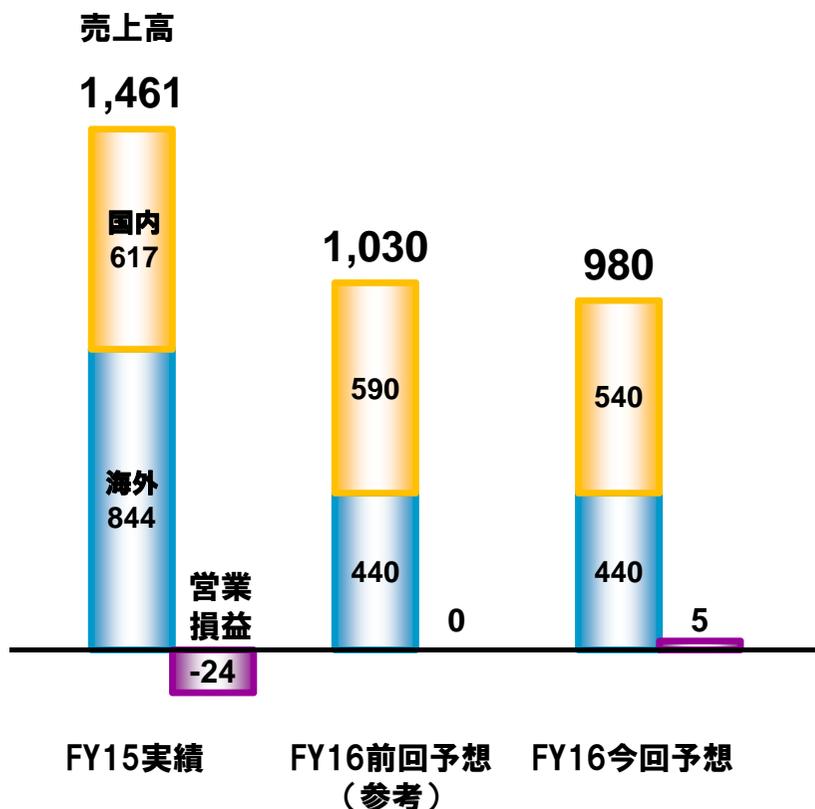
対前期	30億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+34億円)
悪化要因	為替影響(-23億円) OEM先行開発費用の増加(-20億円) 原価率の悪化(-11億円) 売上減による売上総利益の減少(-10億円)
対前回予想	10億円の悪化
良化要因	為替影響(+11億円) 販売費及び一般管理費の減少(+7億円)
悪化要因	原価率の悪化(-25億円) 売上減による売上総利益の減少(-4億円)

< 出荷台数 > (単位:千台)

	FY15実績	FY16前回予想	FY16今回予想
市販カーナビ	689	700	700
市販カーCD	7,557	6,250	5,800
市販カーAV	1,665	1,520	1,450

2016年3月期予想：その他

(単位:億円)



< 売上高 >

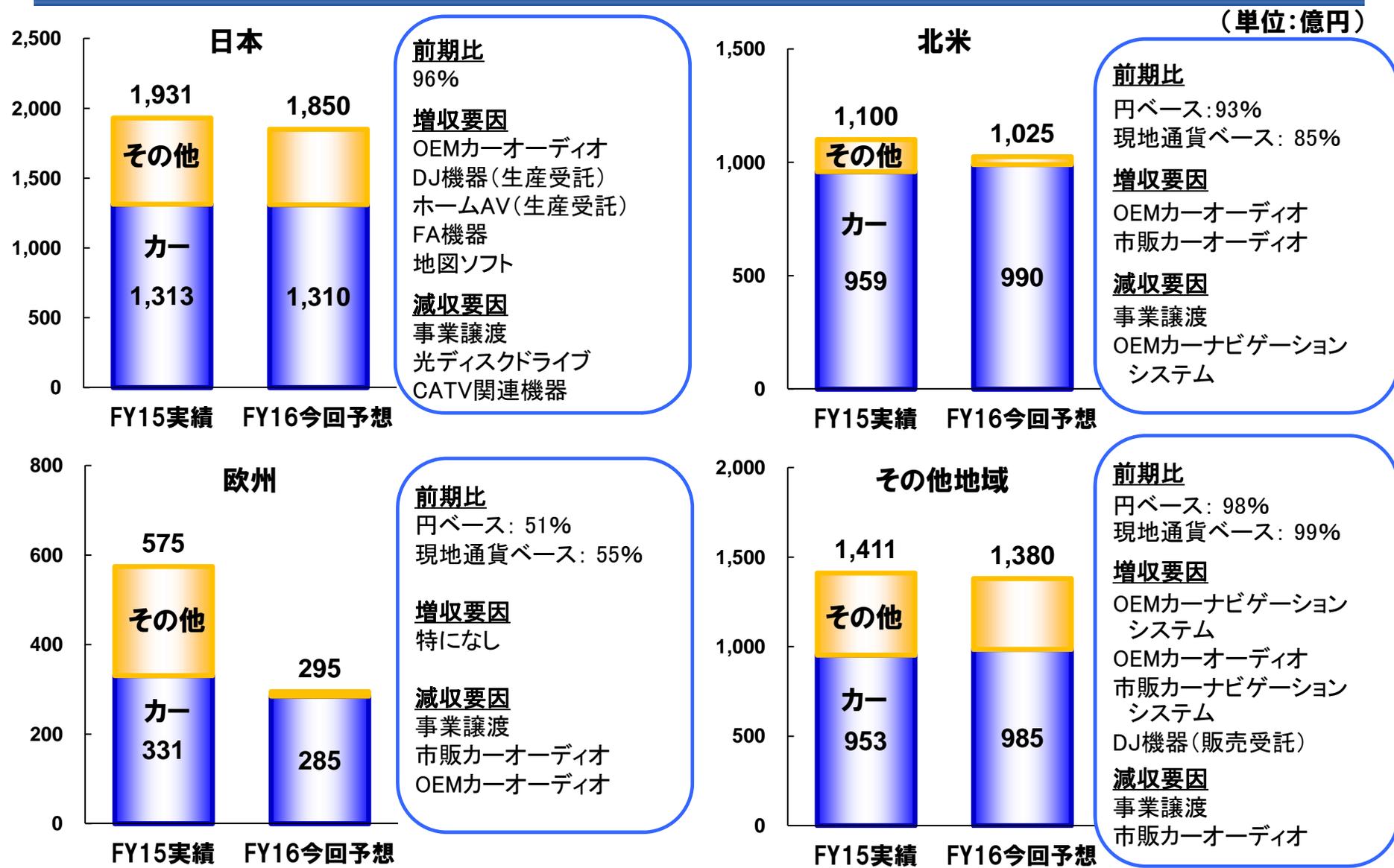
対前期	67% (国内 87%、海外 52%)
増収要因	FA機器、地図ソフト
減収要因	事業譲渡の影響
対前回予想	95% (国内 92%、海外 100%)
増収要因	DJ機器 (生産・販売受託)
減収要因	光ディスクドライブ、CATV関連機器、ホームAV (生産・販売受託)

< 営業損益 >

対前期	29億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+28億円) 販売費及び一般管理費の減少 (+7億円) 事業譲渡の影響 (+4億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 (-6億円) 為替影響 (-4億円)
対前回予想	5億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少 (+10億円) 為替影響 (+2億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 (-6億円) 原価率の悪化 (-1億円)

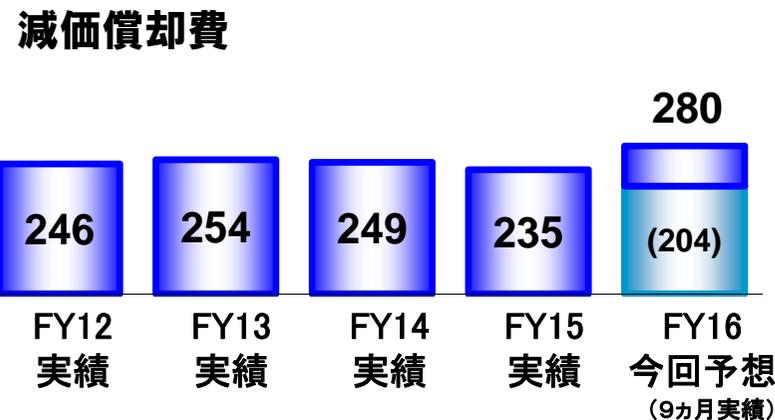
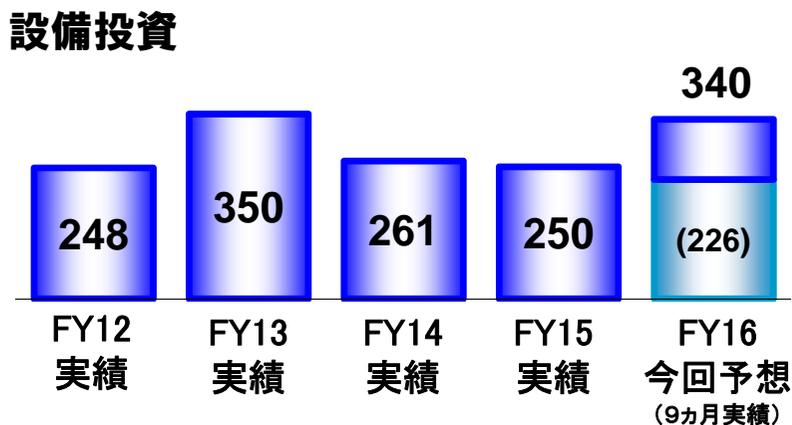
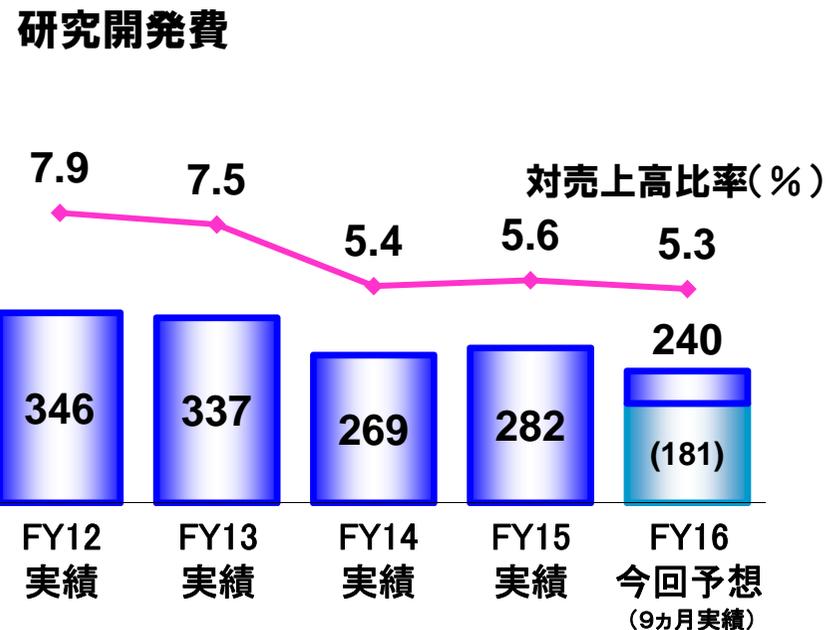
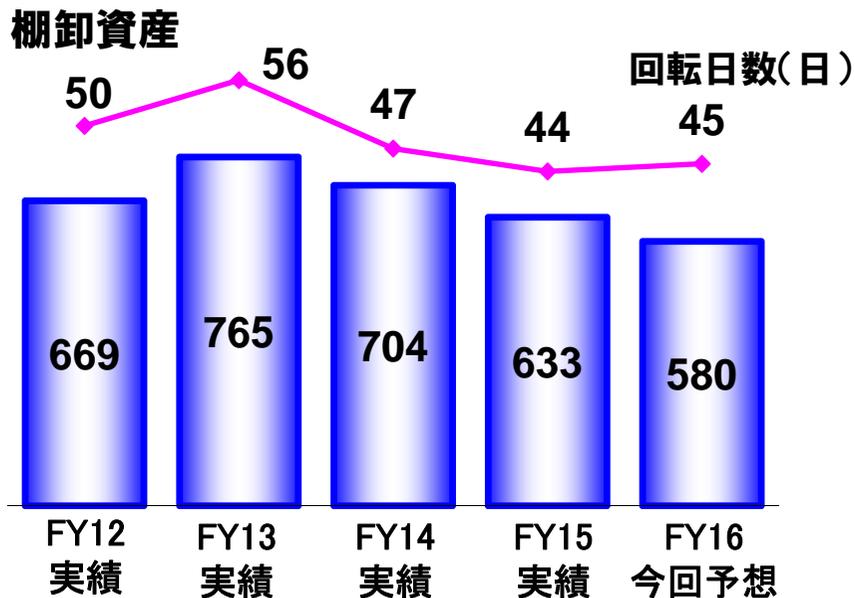
注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2.FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2016年3月期予想： 地域別売上高



2016年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位:億円)



2016年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位：億円)

	FY14実績	FY15実績	FY16予想
営業キャッシュ・フロー	342	346	200
投資キャッシュ・フロー	-219	369	-240
財務キャッシュ・フロー	-9	-554	40
フリー・キャッシュ・フロー	124	714	-40

純資産	778	1,071	1,060
自己資本比率	22%	31%	33%
借入金	874	342	380
D/E比率	1.2倍	0.3倍	0.4倍
現金及び預金	354	522	510

- 注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3ヵ月超の定期預金を含んでいます。
 2. D/E比率＝有利子負債÷(純資産－非支配株主持分)
 3. FY16予想の「財務キャッシュ・フロー」、「借入金」、「現金及び預金」には、2015年12月に実施した転換社債型新株予約権付社債を反映させています。

3. トピックス

転換社債型新株予約権付社債の発行による資金調達について

- ▶ 期初計画よりも受注が拡大しているOEM事業への対応など、持続的な成長および企業価値の向上を図るため、有利な条件での長期安定資金を確保するべく、以下のとおり資金調達を実施

発行年月日	2015年12月18日
資金調達の総額	151億円
転換価額	1株当たり456円
償還期日	2020年12月18日
資金使途	<ul style="list-style-type: none">・ OEM事業における大型の追加受注に伴うソフトウェアの開発投資および設備投資・ 短期借入金の返済

Pioneer